

まちづくり懇談会議事録

日 時：平成 30 年 11 月 2 日（金） 18：22～20：34

場 所：三日月公民館

出席者：16 人

1. 開会
2. 町長挨拶
※資料確認
3. 説明事項
(1) 栗山町第 6 次総合計画後期実施計画策定について（資料①・②）
※質疑応答
4. 懇談
(1) 栗山町が直面する主な課題について（資料③）
※自由懇談・質疑応答
5. 閉会

《懇談会内容》

質疑：角田地区から栗山に向かう道路はフラットになった。前町長が「国道 2 3 4 号の拡幅とバイパス」のことを、最近何も言われていないがタブーということか。夕張橋も耐用年数が過ぎていますが、建替時期は現実的にどうなのか。

町長：前町長に引き続き、現在も国に陳情に行っているところ。国土交通省北海道開発局などの項目には入っている。前町長からもしっかりやるように言われている。4 車線化は、予算がつきにくいので、どうすれば実現できるか議論している。例えば、一気に 4 車線化はできないので、右折する交差点から交通安全対策として拡幅を行い、その後 4 車線にして繋ぐように進める。バイパスは、同時に実施することは難しい。開発局に図面は見せているが、時代も変わっており難しいと言われている。バイパスもまず 2 車線で繋ぐように要請していく。まずは、交差点の改良工事から進めていく予定である。

質疑：9 月 6 日に発生した停電で、町民からも話があったかと思うが、北電の体たらくについて苦情などあったのではないかと思うが、その苦情や問い合わせを受けて、FM 放送局の話が出たのか。

町長：かねてより、災害時に町民に情報を伝える手段がなかった。防災無線はお金がかかるので、本町に合う手段を探していた中で、FM 放送局事業を行うことになった。

質疑：町民から、停電の苦情はあったのか。

総務課：苦情はあった。ブラックアウトになってから 100 件近くあった。電気の復電後も「隣の家はついているのに」という話もあった。北電には、事情は分かるが早急に復電してほしい、と連絡していた。電気を復電するには、役場や病院、警察などの主要施設を最初に復電し、そのあと順番に復電するよう努力している、とのことで、町民にも同様に説明していた。一気に一つの町全てが復電するという形になっていなかったのか、「隣はついているのに」

ということになってしまった。

意見：今回の停電は冬だったら死んでいた。町として早く何らかの手法で情報を流すことで避けられたこともあったのではないかな。情報が入らないことが混乱を招く。オール電化はダメだった。いつ電気がつくか目安もわからないと厳しい。町も情報を早く長くなど対策が必要ではないかな。

町長：町の課題も浮き彫りとなった。自治会長さんへも情報を伝えようとしたが、携帯や固定電話もつながらない状況だった。広報車で回っても、聞こえないという声を多くいただいた。

意見：北電は何をやらかすかわからない。栗山には北電の営業所もあるので、言ってやったら良いのでは。

町長：災害時の裏話になるが、桜山浄水場について自家発電で動かしていたが、ベルトが故障してしまい、30分程度で復電しなければ断水になってしまう、という状況になっていた。北電に言ってピンポイントで復電してもらい、断水は避けられた、という経緯もある。避難所が開いていることも伝わっていなかった。

意見：北電の事務所が早く復電したという話を聞いたがふざけている。60万円も給与をもらっているのに、大した仕事もしていない。職員自身も地震の被災者という話もあるが、電気に関わっている人がそんなことを言っているのか。

町長：今回の災害時にあったことは、北電に申し入れもしていく。

意見：北電について訴訟委員会を立ち上げるとの話もあるが、内部からの人選となっており、泥棒が泥棒を捕まえるようなもの。高い給与をもらっているのに、経営者なのに危機感を持っていない。私たちの大変とあの人（北電）が考える大変はかけ離れている。あったら嫌味でも言っていたきたい。

町長：11月6日に北電と会う予定となっている。今回の災害について話す予定である。

質疑：日赤の医師確保はどのようになっているのか？建物ができたとしても医師は集まるのか。

福祉課：日赤いわく、札幌から通える距離に位置していることから、医師の確保は優遇されているのではとのこと。診療科について週1回しかやっていない診療科もある。全ての診療科が必要かどうか、新しい機種の医療器具は本町にとって必要か、それに伴って医師の確保を考えていかなければならない。公立にするととなるとそれらのノウハウもないので、日赤を含め民間にやってもらうように検討を進めていく。そこも含めて建物をどうするか。町が支援することになれば、日赤との議論もしなければならない。

提言：栗山町スキー場の存続は親がどう思っているかが問題だと思う。スキーを買ったりウェアを揃えたりするのが大変だったとの声も聴いている。スケート授業をやっていた時も靴を回してもらったことを考えた。スキー場は長沼・夕張・岩見沢にもある。学校にいる親はどう考えているのか。やめればやめたなりに何かが出てくる。やるならやったなりに何かが出てくる。個人的には、スキー場は無くしてもいいが、病院は何とかしてほしい。医師をどうするのか。大きい病院ばかりに医師がいるのに、なんで医学部を増やさないのか。だから裏口入学がある。あの人はい手。入学したい学生はたくさんいる。医師会がいろいろ言っているところもあるが、北海道は医学部が3つしかない。医学部を増やせば医者も増える。

町長：医者も都会志向になっており、偏ってしまっている。

提言：10万円～13万円で若い医師が働いている。本町であれば、もっと高い給与で働いていただくことができるのではないのでしょうか。

町長：U I ターンの支援制度を構築する予定。日赤に来る医者も奨学金を借りている人がいる。

奨学金を本町が負担することをPRすれば、人が来てくれるのではないかな。

提言：医者を増やすように要望していけば良いのではないかな。ハコモノよりも医者の確保をどうするのか。

意見：医者もそうだが、介護士も増やせば良い。来やすい環境をつくり、来てくれた人の1／10でも定住してくれれば良いと思う。

質疑：介護福祉学校生が栗山で働くと何かメリットがあるのか。何かご褒美があれば良いのではないかな。

教育長：本町にある施設には限りがあるので、介護福祉学校を卒業することで、何かメリットがないといけないと考えている。メリットは今後検討していく。

意見：NHKのテレビで防災ラジオをやっている。由仁町は全世帯にあり、お悔やみなども放送されている。防災無線はすごくお金がかかる。栗山町にも犯罪者がいないわけではない。朝夕何が目的か分からないが歩いている人もいる。防犯カメラ機能も含めて設置してくれれば安心できる。

質疑：FMラジオは全戸に配布する予定なのか。

町長：65歳以上の高齢者には無償配布を考えている。それ以外是一部負担金をいただいて配布することを検討している。配布予定のラジオは、栗山のFM電波を受信する、自動で電源が入るもの。普通のラジオでも周波数を合わせれば受信できる。

意見：集中豪雨などがあり、水はけが悪く困っている。富士川の浚渫が心配。排水対策は何かならないか。どこがどのようにしているのか。どこへ言えば良いのかわからないことがある。書類は用意している。

建設課：毎年行っている要望調査があり、それに出していただくようお願いしたい。

提言：富士川のJR室蘭線のところにある細くて深い排水が、踏切の当たりから上流まで、水の流れが少なかったのもあって泥や草がたまっている。そこから最上流は農業排水。西側からも農業排水にいつている。細い。逆水の原因になっている。何とか対策をとっていただきたい。中に草が生えてしまうとあっという間。今何とかなっているうちに対処してほしい。三日月、共和、中里、富士が関連している。三日月が一番上流部。困っている。

建設課：今後、現地を見させていただき、そのうえで検討する。